

要 覧

平成20年度



中央図書館



西部図書館



東部図書館

千葉県立中央図書館
千葉県立西部図書館
千葉県立東部図書館

◇◇ 目 次 ◇◇

1 沿 革	2
2 平成20年度千葉県立図書館運営方針	8
3 平成20年度事業計画	15
4 組 織 ・ 職 員	26
5 施 設 の 概 要	29
6 統 計 資 料	41
7 図 書 館 利 用 規 則	45
8 県内公立図書館設置状況	47

(資 料)

- 1 県内公共図書館・図書館未設置市町村読書施設一覧
- 2 利用案内
- 3 交通案内

1 沿 革

年 月	中 央 図 書 館
明治25. 5	本県初の図書館で県立図書館の前身千葉県教育会附属書籍館 <small>しよじやくかん</small> が千葉市本町立真社 楼上に開館
29. 9	千葉県教育会附属図書館猪鼻台に建設
32.11	図書館令公布
40. 6	千葉県通俗巡回文庫開始
42. 3	千葉県通俗巡回文庫の運営を千葉県教育会附属図書館に委託
大正13. 3	「御成婚記念千葉県図書館」の設置を文部大臣認可 県教育会附属図書館を県に移管し、物産陳列館を仮館舎として開館
15.11	千葉県図書館協会発足
昭和 5. 3	館報「千葉県図書館報」創刊（のちの「千葉文化」）
6. 7～8	最初の臨海図書館を千葉市出洲海岸に開く
8. 7	図書館令施行規則公布
10	図書館令等の改正に伴い、知事から県中央図書館の指定
9. 7	県立図書館新館舎落成 11月10日開館
10. 8	県立図書館初代専任館長任命
23. 4～7	5分館（香取、山武、君津、海匝、安房）設置
24. 8	全国初の移動図書館誕生 名称「訪問図書館ひかり号」 9月14日から、市原、長生、夷隅地区巡回開始
25. 4	図書館法公布
26. 1	図書館法制定に伴う千葉県図書館設置条例の公布・施行により名称が「千葉県立 中央図書館」となる
2	千葉県立中央図書館協議会設置
27. 4	移動図書館の全県巡回開始
29. 1	3分館（長生、安房館山、夷隅）設置
32. 4	教育機関設置条例公布・施行
7	千葉県公共図書館協会発足
39. 1	県警察本部庁舎新築のため書庫の大部分を取り壊し、図書を閲覧室に移動 閲覧 室仮設
43. 6	県立中央図書館新館舎落成（現館舎） 9月開館
49. 4	教育機関組織規則の改正により調査課設置
51. 9	「千葉県新総合5か年計画」で東葛飾地方ブックセンターの設置計画を策定
52. 6	図書館協議会答申「県立中央図書館運営の基本方針について」において、県内4 地域にブックセンター設置構想を提示
52.10	「図書館協力車」、東葛飾地域等の市立図書館8館を対象に巡回開始
53. 5	書庫増築工事（第1次）完成

年 月	共通・中央図書館	西部図書館
昭和54. 7 54.11		図書館計画施設研究所に「仮称千葉県立北部図書館建設計画」基本調査を委託 上記計画を策定
56. 4 57. 3	「千葉県第2次新総合5か年計画」で東葛飾地方ブックセンターの松戸市への設置計画を策定 対面朗読室（2室）設置	（仮称）東葛ブックセンター
59. 3	書庫増築工事（第2次）完成	
59. 6		基本設計・実施設計を委託
60. 4 60. 6	図書館協力車の図書館設置市町への全県巡回を実施	県教育庁社会教育課内に「西部図書館（仮称）準備班」を置き、業務を開始 建設工事着工
62. 3	県立図書館の8分館を廃止	建設工事竣工
62. 4 62. 7	移動図書館の貸出対象を未設置市町村の読書施設への一括貸出し方式に変更	「教育機関設置条例の一部を改正する条例」が議決され、県立西部図書館として機関設置（4月1日） 開館 電算機導入
平成 2. 7 2. 9	千葉県社会教育委員会議から「生涯学習社会における県立図書館の整備について」の答申が出され、新県立中央図書館（仮称）及び県立地域図書館の整備等を県教育委員会に提言	書庫棟増築の基本設計を委託
3. 5 3. 6 3.10 4. 3	「千葉県立図書館基本構想検討委員会」設置（県教育委員会）	書庫棟増築の実実施設計を委託 増築関連工事着工 本体建築工事着工 「West Library」第1号刊行

年 月	共 通	中央図書館
平成 4. 4 4. 8 4. 9 4.10 5. 3		
5. 4 5. 7	県立図書館の日曜全日開館開始	
6. 3	「千葉県立図書館基本構想」を策定（県教育委員会）	
6. 4 6.10		
8. 2		
8. 4 8.10		図書館業務に電算機導入
9. 4 10.3		図書館未設置市町村に対するサービスを来館方式とし、移動図書館車の巡回を廃止
10. 4 10. 7 (～11.3) 10.11		平成10年度文部省委嘱事業「子どもの心を育てる図書館活動推進事業」の実施
11. 4 11.12 12. 3		国の緊急地域雇用対策特別基金事業に基づくデータ週及入力（～13年度）
13. 3		一般閲覧室及びレファレンスルームのリニューアル実施
13. 4 13. 7 14. 3	千葉県立図書館ホームページ公開 横断検索システム開始 協力車全市町村へ巡回（業者委託） 「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」が図書館法第18条の規定に基づき制定	電算機更新 新聞雑誌室、郷土資料室及び児童資料室のリニューアル実施

年 月	西部図書館	東部図書館
平成 4. 4 4. 8 4. 9 4.10 5. 3	電算機更新 書庫棟増築部分の閲覧席使用開始 書庫棟関連工事完了 利用者用電算端末機設置 「千葉県立西部図書館書誌情報データベースCD-ROM版」(名称:Welcome)発行	県教育委員会が東部地域図書館の整備を決定
5. 4 5. 7 6. 3		「千葉県立東部地域図書館(仮称)設置準備委員会」設置 「千葉県立東部地域図書館(仮称)基本計画」策定
6. 4 6.10		県生涯学習部社会教育課内に「県立図書館準備班」設置 「千葉県立東部地域図書館(仮称)基本設計」完了
8. 2		「千葉県立東部地域図書館(仮称)実施設計」完了
8. 4 8.10		建設工事着工
9. 4 10.3	電算機更新	「県立図書館準備班」の名称が「東部図書館準備班」に改称 建設工事完了
10. 4 10. 7 (~11.3) 10.11		「東部図書館準備班」旭市で開館準備業務開始 「千葉県立東部図書館」として機関設置(11月1日)開館
11. 4 11.12 12. 3		奉仕対象地域内高等学校図書館への資料貸出等を開始 中国語図書所蔵目録刊行開始 韓国・朝鮮語図書所蔵目録刊行開始
13. 3		
13. 4 13. 7 14. 3	入館者数300万人突破	「知識は旅をする」第1号刊行

年 月	共 通	中央図書館
平成14. 4	県立図書館の祝日開館開始	国の緊急地域雇用創出特別基金事業に基づくデータ遡及入力（～16年度） 郷土資料室を千葉県資料室に名称変更 カラーコピーサービス開始
14. 5		
14. 8		
14.12		
15. 3	「千葉県子どもの読書活動推進計画」策定	
15. 4		
15. 6		
15. 8		
16. 8		
16.10		
17. 4		県立中央図書館の一括貸出しを廃止し図書館間貸出しに一本化
17.10	「文字・活字文化振興法」が成立	
17.12		アスベスト除去工事のため一部サービス休止
18. 4		
18. 7		アスベスト除去工事完了
18.10		ないーぶネット導入
19. 1	千葉県立図書館協議会から「これからの時代に求められる千葉県立図書館運営の在り方について」の答申が出された。	
19. 2	電算システム更新 千葉県立図書館統合電算システム稼働 インターネット図書予約システム、メールレファレンス、所蔵貴重書画像の公開の開始	インターネット情報検索用パソコン等による情報検索環境を整備
19. 4		教育庁への情報提供サービスを開始（試行）
19. 7		
20. 2		情報提供サービスの対象を全庁へ拡充
20. 3	相互協力支援システムを試行で導入	

年 月	西部図書館	東部図書館
平成14. 4	電算機更新、インターネットによる検索環境を整備（利用者用13台・持込用席4席）	
14. 5	奉仕対象地域内高等学校図書館との相互協力業務開始	
14. 8	カラーコピーサービス開始	
14.12	奉仕対象地域内高等学校図書館に対する協力車巡回サービス開始	
15. 3		
15. 4		電算機更新、インターネット情報検索性用パソコン等による情報検索環境を整備
15. 6	メールレファレンス（試行）の受付開始	
15. 8		入館者数100万人突破
16. 8		「中国語図書目録」「韓国・朝鮮語図書目録」をホームページ公開
16.10	インターネットによる検索環境の見直し（利用者用16台・持込用席7席）	
17. 4		カラーコピーサービス開始
17.10		
17.12		
18. 4	ないーぶネットの導入	
18. 7		
18.10		
19. 1		
19. 2	インターネットによる検索環境の見直し（利用者用24台）	
19. 4		ないーぶネット導入
19. 7	開館20周年記念事業開催	
20. 2		
20. 3		

2 平成20年度千葉県立図書館運営方針

県立図書館は、法令及び「これからの時代に求められる千葉県立図書館運営の在り方について（答申）」（平成19年1月16日千葉県図書館協議会）等を踏まえ、県民の生涯にわたる多様な学習要求に応え、県民が等しく図書館サービスを楽しみ、県民文化の向上に寄与するよう、市町村立図書館等関係機関・団体と密接な連携を図りながら、次の事項を推進する。

1 重点項目

(1) 市町村立図書館等への援助機能の充実

- ・ 県民が等しく図書館サービスを楽しめるよう、市町村立図書館等の求めに応じて様々な援助の充実に努める。
- ・ 図書館を設置していない市町村に対しては、市町村の求めに応じて図書館の設置に関し必要な援助を行う。

(2) 県内の中核的調査研究図書館としての機能の充実

- ・ 県内の中核的調査研究図書館として、国立国会図書館等と連携し、市町村立図書館等からの相談等に一層的確に対応するよう努める。
- ・ パスファインダーの作成及びレファレンス事例集の拡充を図る。
- ・ 新たな図書館サービスの数値目標を設定するとともに、外部評価制度の導入を図る。

(3) 総合的運営機能の充実

- ・ 県立3館の連携により書庫狭隘化対策の検討を進めるとともに、時代や社会情勢の変化に対応し得る図書館運営を一層確実なものとするため、県内公共図書館のネットワークの中心館としての情報通信システムや物流システムを活用した資料の収集・利用・保存等、総合的運営機能の充実に努める。
- ・ 図書館サービスを効果的・効率的に行うための調査・研究開発に努めるとともに県内の図書館で構成する団体等と連携して、図書館間の連絡調整の推進に努める。

(注) 法令等

図書館法（昭和25年4月30日法律第118号）

子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年12月12日法律第154号）

文字・活字文化振興法（平成17年7月29日法律第91号）

公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準（平成13年7月18日文部科学省告示第132号）

これからの図書館像～地域を支える情報拠点をめざして～

（平成18年3月これからの図書館の在り方検討協力者会議 報告）

2 各図書館重点業務

各図書館は、図書館運営方針を踏まえ、次の業務を実施する。

【中央図書館】

(1) 市町村立図書館等への援助機能の充実

主要事業名	事業の概要
図書館協力業務	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村立図書館等への援助機能の強化を図るため、資料の図書館間貸出しや協力レファレンスを行うとともに、協力車により奉仕対象地域内の市町村立図書館、公民館図書室等へ週1便の資料の定期搬送を行う。 ・図書館ネットワークの充実を図るため、必要に応じて図書館協力業務に関する会議を開催する。
研修事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村立図書館等職員の資質向上を図るため、研修会を開催する。 新任職員研修会、地域行政資料研修会、レファレンス研修会、児童サービス基礎研修会、公共図書館サービス計画研修会、図書館音訳者養成講座
図書館運営相談	<ul style="list-style-type: none"> ・奉仕対象地域内市町村の求めに応じて図書館運営相談を行う。 各図書館の管理運営、資料収集・整備、サービス業務など個々の課題についての運営相談に応じるため、各業務部門の職員が随時対応に当たる。 ・奉仕対象市町村立図書館等読書施設の運営等の充実を図るため、施設訪問を行い運営状況等のデータをもとに調査・研究開発を行う。
図書館未設置市町村援助	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館未設置市町村の読書施設への援助体制の強化を図るため各施設の実態把握に努め、市町村の求めに応じ、運営相談や図書館の設置に関し必要な援助を行う。また、資料の図書館間貸出しを推進する。

(2) 県内の中核的調査研究図書館としての機能の充実

主要事業名	事業の概要
図書館資料の電子化	<ul style="list-style-type: none"> ・絵地図や和装本など主に千葉県関係の貴重資料の電子化を推進する。
目録・索引類の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・「千葉県歴史関係雑誌記事索引」の充実を図る。
調査相談業務の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・メールレファレンス等調査相談業務（レファレンスサービス）の拡充を図る。 ・レファレンス事例集の拡充を図る。 ・資料・情報を提供・収集する際の関連資料リストとなる「パスファインダー」の作成を進める。

(3) 総合的運営機能の充実

主要事業名	事業の概要
県立全館の資料整備	・県立図書館が一体となった資料の収集・整備に努め、資料の運用や利用の充実を図る。
市町村立図書館等 除籍資料の保存	・県内最終保存館の役割を担うため、県内市町村立図書館等で除籍となった資料を収集・整備し、活用を図る。
県立図書館情報 システムの拡充整備	・県立図書館総合目録データベースシステムなど統合的な電算システムの効果的運用を図る。 ・インターネットによる図書館情報システムの充実、外部データベースの活用と情報提供を行う。 ・県立図書館統合電算システムの管理館として、県民の利便性をより一層図るための情報環境の整備を推進する。
障害者サービス	・障害者への資料提供及び対面朗読を行う。 ・録音図書を製作する。 千葉県関係資料及び児童資料のデジタル録音図書 ・障害者サービスのための音訳者養成講座を開催する。 図書館音訳者養成講座
児童サービス	・児童サービスのセンター館として、協力レファレンスや運営相談業務の充実を図る。 ・県内の子ども読書活動に関する調査・研究を行う。 ・児童の録音図書や点訳絵本を製作する。 ・市町村が実施する子どもの本の読み聞かせボランティアを養成する講座への講師の派遣を行う。 ・県民を対象にした子どもの本の読み聞かせ講座を開催する。 ・児童を対象にした定例のおはなし会や冬のおはなし会を開催する。

(4) その他の実施事業

主要事業名	事業の概要
講座・研修会	・小・中・高校生の社会体験学習等の受入れを行う。 ・千葉県読書グループ育成研修大会を共催する。 ・県民を対象にした書庫見学会及び図書館活用ミニ講座を開催する。
資料の展示	・所蔵資料の特長を活かしたテーマを設定し、定期的に資料の展示を行う。

【西部図書館】

(1) 市町村立図書館等への援助機能の充実

主要事業名	事業の概要
図書館協力業務	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村立図書館等への援助機能の強化を図るため、資料の図書館間貸出しや協力レファレンスを行うとともに、協力車により奉仕対象地域内の市立図書館等へ週1便の資料の定期搬送を行う。 ・図書館ネットワークの充実を図るため、必要に応じて図書館協力業務に関する会議を開催する。 ・高等学校図書館、千葉大学附属図書館松戸分館、さわやかちば県民プラザとの連携を強める。 ・県内公共図書館等所蔵新聞・雑誌総合目録を整備する。
研修事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村立図書館等職員の資質向上を図るため、研修会を開催する。 図書館ネットワーク研修会、障害者サービス研修会、資料補修研修会、図書館音訳者養成講座（中級）
図書館運営相談	<ul style="list-style-type: none"> ・奉仕対象地域内市の求めに応じて図書館運営相談を行う。 各図書館の管理運営、資料収集・整備、サービス業務など個々の課題についての運営相談に応じるため、各業務部門の職員が随時対応に当たる。 ・奉仕対象市立図書館の運営等の充実を図るため、施設訪問を行い運営状況等のデータをもとに調査・研究開発を行う。

(2) 県内の中核的調査研究図書館としての機能の充実

主要事業名	事業の概要
目録・索引類の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・「千葉県関係新聞記事索引」の充実を図る。
調査相談業務の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・メールレファレンス等調査相談業務（レファレンスサービス）の拡充を図る。 ・レファレンス事例集の拡充を図る。 ・資料・情報を提供・収集する際の関連資料リストとなる「パスファインダー」の作成を進める。

(3) 総合的運営機能の充実

主要事業名	事業の概要
県立全館の資料整備	<ul style="list-style-type: none">・ 県立図書館が一体となった資料の収集・整備に努め、資料の運用や利用の充実を図る。・ 逐次刊行物センターとしての収集強化を図る。
市町村立図書館等 除籍資料の保存	<ul style="list-style-type: none">・ 県内最終保存館の役割を担うため、県内市町村立図書館等で除籍となった資料を収集・整備し、活用を図る。
県立図書館情報 システムの拡充整備	<ul style="list-style-type: none">・ 県立図書館総合目録データベースシステムなど統合的な電算システムの効果的運用を図る。・ インターネットによる図書館情報システムの充実、外部データベースの活用と情報提供を行う。
障害者サービス	<ul style="list-style-type: none">・ 障害者への資料提供及び対面朗読を行う。・ 録音図書を製作する。・ 障害者サービスのための音訳者養成講座を開催する。 図書館音訳者養成講座（中級）

(4) その他の実施事業

主要事業名	事業の概要
講座・研修会	<ul style="list-style-type: none">・ 小・中・高校生の社会体験学習等の受入れを行う。・ 県民を対象にした図書館活用講座を開催する。・ 県民の生涯学習への意欲にこたえるためのボランティア養成講座・体験講座を開催する。
資料の展示	<ul style="list-style-type: none">・ 所蔵資料の特長を活かしたテーマを設定し、定期的に資料の展示を行う。

【東部図書館】

(1) 市町村立図書館等への援助機能の充実

主要事業名	事業の概要
図書館協力業務	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村立図書館等への援助機能の強化を図るため、資料の図書館間貸出しや協力レファレンスを行うとともに、協力車により奉仕対象地域内の市町立図書館、公民館図書室及び高等学校図書館・大学図書館へ週1便の資料の定期搬送を行う。 ・図書館ネットワークの充実を図るため、必要に応じて図書館協力業務に関する会議を開催する。 ・奉仕対象地域内の館種を超えた相互協力・連携を推進する。 ・図書館協力業務を円滑に遂行するため、奉仕対象地域内の相互協力担当者会議を開催する。
研修事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村立図書館等職員の資質向上を図るため、研修会を開催する。 図書館運営研修会、図書館音訳者養成講座（初級）
図書館運営相談	<ul style="list-style-type: none"> ・奉仕対象地域内市町の求めに応じて図書館運営相談を行う。 各図書館の管理運営、資料収集・整備、サービス業務など個々の課題についての運営相談に応じるため、各業務部門の職員が随時対応に当たる。 ・奉仕対象市町立図書館等読書施設の運営等の充実を図るため、きめ細かな運営相談を実施する。協力車で市町立図書館へは月1回、図書館未設置町の読書施設へは年3回、高等学校図書館・大学図書館へは年2回以上巡回し、運営状況等のデータをもとに調査・研究開発を行う。
図書館未設置市町村援助	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館設置促進に関する援助業務を、中央図書館と共に実施する。 ・奉仕対象地域内未設置町の読書施設には、年3回の運営相談巡回や、資料貸出しなどの援助を実施する。

(2) 県内の中核的調査研究図書館としての機能の充実

主要事業名	事業の概要
目録・索引類の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・「東総地域人名索引」の充実を図る。
調査相談業務の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・メールレファレンス等調査相談業務（レファレンスサービス）の拡充を図る。 ・レファレンス事例集の拡充を図る。 ・資料・情報を提供・収集する際の関連資料リストとなる「パスファインダー」の作成を進める。

(3) 総合的運営機能の充実

主要事業名	事業の概要
県立全館の資料整備	・ 県立図書館が一体となった資料の収集・整備に努め、資料の運用や利用の充実を図る。
市町村立図書館等 除籍資料の保存	・ 県内最終保存館の役割を担うため、県内市町村立図書館等で除籍となった資料を収集・整備し、活用を図る。
県立図書館情報 システムの拡充整備	・ 県立図書館総合目録データベースシステムなど統合的な電算システムの効果的運用を図る。 ・ インターネットによる図書館情報システムの充実、外部データベースの活用と情報提供を行う。
障害者サービス	・ 障害者への資料提供及び対面朗読を行う。 ・ 録音図書を製作する。 デジタル録音（DAISY）による録音図書など ・ 障害者サービスのための音訳者養成講座を開催する。 図書館音訳者養成講座（初級）

(4) その他の実施事業

主要事業名	事業の概要
講座・研修会	・ 小・中・高校生の社会体験学習等の受入れを行う。 ・ 県民への学習機会を提供する文学・歴史講座や名作映画鑑賞会（月例）等を開催する。 ・ 公民館等読書施設担当職員、高等学校図書館職員などへの資料検索講習会を実施するなど、図書館利用案内の充実を図る。 ・ 県民の図書館利用の促進のため、研修室等の有効活用を進める。
資料の展示	・ 所蔵資料の特長を活かしたテーマを設定し、定期的に資料の展示を行う。

3 平成20年度事業計画

1 資料の収集

(1) 県立全館の資料整備

県民の調査研究活動を支援するため、また、県内の市町村立図書館等への協力・援助を行うため、中央図書館・西部図書館・東部図書館が連携・分担して収集整備する。

ア 資料収集の方針（「千葉県立図書館資料収集方針」より抜粋）

- (ア) 県立図書館は県民の調査研究及び知識・教養の向上に資する資料を収集する。
- (イ) 収集に当たっては、県民の要求を的確に把握するとともに、県の人口構成、産業構造等を考慮して、県内公共図書館、国立国会図書館、類縁機関等の収集方針並びに蔵書構成も考慮して、将来を見越した体系的な資料構成に努める。
- (ウ) 資料の種類においては、図書、逐次刊行物等の印刷資料のほか、マイクロ資料、視聴覚資料、電子出版資料等を収集する。
- (エ) 資料の範囲においては、一般的なものから専門的なものまで全分野にわたり幅広く収集する。さらに、外国語資料、その他自費出版物等、流通が限定されているものについても収集に努める。
- (オ) 資料の収集方法においては、購入、寄贈等の手段を十分活用し、迅速かつ的確に収集する。

イ 主な分担整備

中央図書館、西部図書館並びに東部図書館それぞれが全分野にわたって資料を整備するが、県民に対して、より充実したサービスを提供できるように、各館の機能と役割の特性に応じて分担して整備する。

一般図書は、中央図書館で全分野にわたって整備し、西部図書館では自然科学や技術の分野に留意し、東部図書館では文学や歴史の分野に留意して整備する。

千葉県関係資料は中央図書館で全分野にわたって整備し、西部・東部図書館では地域関係の資料を整備する。

児童資料は中央図書館で整備する。

ウ 購入計画

区 分	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合 計
図 書 資 料	6,006冊	3,695冊	9,451冊	19,152冊
マイクロ資料	91リール	213リール	95リール	399リール
視 聴 覚 資 料	20点	21点	125点	166点
逐 次 刊 行 物	229タイトル	504タイトル	311タイトル	1,044タイトル

(2) 市町村立図書館等除籍資料の保存

県内の最終的な保存図書館として、市町村立図書館等除籍資料を収集・寄贈受入れし、整理する。

2 奉仕業務

来館する利用者に資料提供等のサービスを実施するとともに、県民から寄せられる資料に関する調査・相談に応じる。児童サービスは中央図書館が県内のセンター館としての活動を行い、障害者サービスは県立図書館が連携・協力してサービスの充実に努める。

【中央図書館】

来館する利用者に一般資料室、千葉県資料室、新聞雑誌室、児童資料室等で資料の提供と貸出し、資料複製サービス、おはなし会（毎週土曜日）等のサービスを実施するとともに、口頭・電話・メールレファレンス・文書等による問い合わせに対しては、県立西部・東部図書館や国立国会図書館、他の公共図書館等との相互協力も利用しながら資料調査・相談や提供等を積極的に行う。また、本年度も平成15年3月に策定された「千葉県子どもの読書活動推進計画」に基づき、読み聞かせ講座を開催する。

障害のある人も等しく図書館サービスを受けられるように、委嘱音訳者による対面朗読や録音図書の製作や貸出しをし、視覚障害者へのサービスの充実に努める。

なお、館報「千葉文化 No.240」等の刊行や所蔵資料の展示等を行い、広報活動も幅広く展開する。

＜平成20年度実施事業計画＞

定例おはなし会	毎週土曜日
図書館活用ミニ講座	第2金曜日 第4日曜日
図書館音訳者養成講座	9月10日(水) 24日(水)
子どもの本の読み聞かせ講座	酒々井町 10月2日(木)～3日(金) いすみ市 1月29日(木)～30日(金)
冬のおはなし会	12月6日(土)
アドベンチャーライブラリー（図書館探検）	2月15日(日)

【西部図書館】

図書館に対する理解を利用者がいっそう深められるように「図書館活用講座」を開催する。中学生・高校生の職場体験を積極的に受け入れ、社会教育活動に貢献する。

障害のある人も等しく図書館サービスを受けられるように、「音訳者養成講座」により専門技術を持った音訳者を養成し、対面朗読サービス、録音図書製作を行う。また、ないぶネットを利用し録音図書貸出しの効率化を図る。

県民の生涯学習への意欲にこたえるために、「ボランティア養成講座」と「ボランティア体験講座」を開催する。

また、テーマに沿った資料展示を行い、普段あまり目にする機会が少ない資料の利用促進を図る。

＜平成20年度実施事業計画＞

図書館活用講座	7月9日(水) 9月21日(日) 10月1日(水) 11月7日(金) 12日(水) 19日(水) 12月7日(日)
図書館音訳者養成講座(中級)	9月～10月 水曜日午後 全4～6回
ボランティア養成講座	4月23日(水)
ボランティア体験講座	5月14日(水) 21日(水) 28日(水)
資料展示	年6回

【東部図書館】

来館する利用者への閲覧・貸出し・複製サービス等を行うとともに、資料相談、他の公共図書館等との相互協力による資料の提供を実施する。

障害のある人も等しく図書館サービスを受けられるように、対面朗読、録音図書製作や貸出し・郵送サービスを実施するとともに、「図書館音訳者養成講座」を開催し、音訳者の技術の向上を図る。また「ないーぶネット」を利用し、録音図書貸出しの効率化を図るとともに、当館所蔵録音図書データを提供する。

所蔵資料による展示を積極的に行い、利用を喚起する。県民への学習機会の提供として、郷土に対する深い理解を得るための「文学・歴史講座」、当館所蔵の映像資料の中から、古今東西の話題となった映画を上映する「名作映画鑑賞会」を開催する。

図書館音訳者養成講座(初級)	11月～全5回予定	
文学・歴史講座	11月22日(土) 予定	
名作映画鑑賞会	毎月第3土曜日 全11回予定	
資料展示	展示コーナー	年4回
	資料紹介コーナー	年12回

3 協力・援助業務

(1) 県内の図書館の現状

平成17年度の「平成の大合併」により、図書館未設置の町村の数は大幅に減少したが、依然として2市13町2村が図書館を設置していない。特に町村立の図書館設置率は25.0%とわずかに伸びたが、全国平均設置率の半分にも届かない状態が続いている。

県内の市町村立図書館の活動状況を見ると、全国的にも高いレベルのサービスを提供している図書館がある一方、蔵書数や職員数で低迷している図書館も多い。全国的に近年はどの自治体も財政難で、図書費の大幅な削減に見舞われている。

(2) 県立図書館の役割

県立図書館では、県民が等しく図書館サービスを受けられるように、市町村立図書館等を援助することを役割のひとつとしている。そのため、市町村立図書館等への援助機能の充実を重点項目のひとつと定めている。

(3) 協力・援助の方針

協力・援助の具体的な事業としては、3館共通での、情報と物流システムの整備がある。情報システムとしては、県内の公共図書館の横断検索をインターネット上に引き続き整備するとともに、これを補完する相互協力支援システムを運用する。また、物流システムとしては、県立3館間は週2回連絡車を巡回し、県立各館のエリア内は週1回すべての自治体に協力車を巡回し、リクエストのあった資料等を県内どこにでも送れるような体制を継続する。

県立各館の方針、エリア内の状況によって、図書館協力業務、協力レファレンス、図書館運営相談、図書館未設置市町村援助、高等学校・大学との連携、研修事業等の事業を実施する。

<平成20年度県立間連絡車巡回コース>

曜日	図書館名
火・木曜日	県立中央 → 県立東部 → 県立西部 → 県立中央 → 県立東部

【中央図書館】

ア 図書館協力業務

県内市町村立図書館等の求めに応じ、県立図書館所蔵の資料を貸出しするとともに、市町村立図書館等で調査できない質問事項を協力レファレンスとして受け付け調査・回答する。

(ア) 市町村立図書館等相互協力担当者会議

市町村立図書館等相互協力担当職員を対象に、相互協力の円滑な推進を図るための会議を実施する。

イ 図書館協力車巡回業務

業者委託により、県立3館の間で連絡車を巡回させるとともに、県内の全ての市町村に対し、週1回定期的に協力車を巡回し、県立図書館及び市町村立図書館同士で実施した相互貸借の資料を搬送する。

ウ 図書館運営相談

図書館の管理・運営や、サービスの内容に関する質問などを市町村立図書館から受け付け、図書館運営相談に応じる。

エ 図書館未設置市町村に対する援助

資料の相互貸借、協力レファレンス、運営相談を通じ援助を行う。

オ 高等学校・大学との連携

県内高等学校図書館や大学図書館の求めに応じ、県立図書館所蔵の資料を貸し出すとともに、協力レファレンスに応じる。

カ 研修会の実施

県内図書館等職員のスキルアップのため、各種の研修会を実施する。(後掲「研修事業」参照)

キ 行政支援

県民生活の維持向上などに係る施策を企画・立案している県庁各課へ、業務に必要な資料の貸出しや調べものの支援として情報提供サービスを行う。

ク 読書活動援助

県内の読書活動を推進するため、千葉県読書グループ連絡会と共催で、千葉県読書グループ育成研修大会を開催する。

また、読書会用のテキストとして、同一タイトル10冊をセットにした十冊文庫の整備を進める。

<協力車巡回コース>

コース名	Aコース	Bコース	Cコース	来館
曜日	水曜日	木曜日	金曜日	火曜日 金曜日
巡回 施設	館山市図書館 南房総市千倉図書館 鴨川市立図書館 勝浦市立図書館 御宿町公民館 いすみ市夷隅公民館図書室 大多喜町立大多喜図書館天賞文庫 睦沢町中央公民館 一宮町まちの図書室	鋸南町立中央公民館 富津市移動図書館 君津市立中央図書館 木更津市立図書館 袖ヶ浦市立中央図書館 市原市立中央図書館 長柄町中央公民館 長南町中央公民館 長生村文化会館 白子町青少年センター 茂原市立図書館	印旛村立図書館 本埜ファミリア館 ふれあいプラザさかえ 成田市立図書館 富里市立図書館 八街市立図書館 酒々井町立図書館 佐倉市立佐倉南図書館 四街道市立図書館 千葉県教育振興財団 八千代市立大和田図書館 習志野市立大久保図書館 千葉県立衛生短期大学	千葉市

【西部図書館】

ア 図書館協力業務

県内の公共図書館等との連絡調整等により、市町村立図書館、高等学校図書館、類縁機関へ資料の相互貸借、協力レファレンス等の援助を行う。

相互協力の円滑な推進を図るため奉仕対象地域内図書館の市立図書館相互協力担当職員を対象に、市立図書館相互協力担当者会議を実施する。

イ 図書館協力車の巡回

業者委託により西部図書館奉仕対象地域内11市の図書館及び巡回希望があった36校の高等学校図書館、千葉大学附属図書館松戸分館、さわやかちば県民プラザへ週1回巡回する。

ウ 図書館運営相談

奉仕対象地域内市立図書館を定期的に訪問し、運営上の諸問題について相談に応じる。また、状況に応じて調査を行う。

エ 類縁機関・行政・大学・高等学校等との連携

県内の類縁機関（地域内連携：さわやかちば県民プラザ）や大学（地域内連携：千葉大学附属図書館松戸分館）、高等学校（地域内連携：42校）等と連携し、要望に応じて資料提供や協力レファレンスを行う。

オ 研修会の実施

県内公共図書館等職員を対象に、図書館システムや情報ネットワークについて図書館ネットワーク研修会を開催する。

カ 県内公共図書館等所蔵新聞・雑誌総合目録の提供

県内公共図書館や文書館行政資料室、衛生短期大学図書館、さわやかちば県民プラザで所蔵する新聞や雑誌の総合目録を毎年更新してホームページ上で公開する。

<協力車巡回コース>

コース名	Aコース	Bコース	Cコース	来館
曜日	水曜日	金曜日	木曜日	金曜日
巡回施設	千葉大学附属図書館松戸分館 松戸市立図書館 流山市立中央図書館 千葉県立流山おおたかの森高等学校 野田市立興風図書館 千葉県立清水高等学校 さわやかちば県民プラザ 千葉県立柏の葉高等学校 柏市立図書館 我孫子市民図書館 千葉県立沼南高等学校 千葉県立沼南高柳高等学校 千葉県立松戸六実高等学校 千葉県立柏陵高等学校 千葉県立松戸国際高等学校	印西市立小倉台図書館 白井市立図書館 千葉県立白井高等学校 鎌ヶ谷市立図書館 船橋市北図書館 市川市中央図書館 浦安市立中央図書館 千葉県立浦安南高等学校 千葉県立市川南高等学校	千葉県立松戸高等学校 千葉県立松戸馬橋高等学校 千葉県立小金高等学校 流通経済大学付属柏高等学校 柏市立柏高等学校 千葉県立柏高等学校 千葉県立柏中央高等学校 芝浦工業大学柏高等学校 千葉県立柏南高等学校 千葉県立船橋北高等学校 千葉県立船橋豊富高等学校 千葉県立船橋古和釜高等学校 千葉県立薬園台高等学校 千葉県立船橋東高等学校 船橋市立船橋高等学校 千葉県立船橋旭高等学校 千葉県立船橋西高等学校 千葉県立船橋法典高等学校 千葉県立市川東高等学校 千葉県立市川工業高等学校 千葉県立国府台高等学校 千葉商科大学附属高等学校 千葉県立松戸矢切高等学校 千葉県立松戸秋山高等学校 松戸市立松戸高等学校	松戸市立図書館

【東部図書館】

ア 図書館協力業務

県内の公共図書館等との連絡協力等により、市町立図書館、図書館未設置町内の公民館等読書施設、高等学校図書館、大学図書館及び類縁機関に対して、資料の相互貸借・協力レファレンス・運営相談等の援助を行う。また、平成13年度から、図書館協力車（資料搬送）業務を委託し、東部図書館奉仕対象地域内全市町の図書館及び公民館等読書施設へ週1回巡回する。

なお、奉仕対象地域内の市町立図書館等に対して、定期的に職員が巡回し、運営相談や協

カレファレンスに応じる。

(ア) 市町立図書館等相互協力担当者会議

東部図書館奉仕対象地域の市町立図書館及び公民館図書室等の担当者を対象に、地域内の図書館協力業務の円滑な推進を図るため、年1回会議を実施する。

期 日 平成20年5月23日（金）

場 所 東部図書館研修室

参加者数 20名

イ 図書館未設置町援助業務

奉仕対象地域内の図書館未設置5町（神崎町、多古町、大網白里町、九十九里町、芝山町）の公民館図書室等読書施設に対し、図書館資料貸出しを実施するとともに、各施設を定期的に職員が巡回し、運営相談や協力レファレンスに応じる。

ウ 高等学校図書館等に対する援助業務

県内の高校等の要望に応じて図書館資料を貸し出しするとともに、奉仕対象地域内の高校等を定期的に職員が巡回し、運営相談や協力レファレンスに応じる。

また、奉仕対象地域内の23高等学校のうち要望のあった11校及び城西国際大学（東金市）、千葉科学大学（銚子市）に対しては、図書館協力車を巡回し、資料搬送を行う。

<協力車巡回コース>

コース名	Aコース	Bコース	Cコース
曜日	水曜日	木曜日	金曜日
巡回施設	千葉県立佐原高等学校 香取市立佐原中央図書館 千葉県立佐原白楊高等学校 神崎ふれあいプラザ 千葉県立多古高等学校 多古町公民館 芝山町中央公民館 横芝光町立図書館 匝瑳市立八日市場図書館	千葉県立銚子商業高等学校 千葉科学大学 銚子市公正図書館 銚子市立銚子高等学校 東庄町図書館 千葉県立小見川高等学校 千葉県立東総工業高等学校 旭市図書館	九十九里町中央公民館 大網白里町図書室 千葉県立東金高等学校 東金市立東金図書館 城西国際大学 千葉県立成東高等学校 山武市成東図書館 千葉県立松尾高等学校

4 研修事業

市町村立図書館職員等の資質向上を図るため各種の研修会を実施し、市町村立図書館等への援助機能の充実に努める。

【中央図書館】

事業名	年月日	会場	参加予定数	備考
公共図書館新任職員研修会	平成20年5月15日(木)	県文書館	70名	
公共図書館サービス計画研修会	平成20年9月12日(金)	中央図書館講堂	30名	
児童サービス基礎研修会 第1回	平成20年6月5日(木)	中央図書館講堂	40名	
第2回	平成20年7月3日(木)	中央図書館講堂	40名	
第3回	平成20年9月4日(木)	県文書館	40名	
第4回	平成20年10月9日(木)	県文書館	60名	
地域行政資料研修会	平成20年7月10日(木)	中央図書館講堂	40名	
レファレンス研修会（レファレンスサービス基礎研修） 第1回	平成20年6月6日(金)	中央図書館講堂	40名	
第2回	平成20年6月13日(金)	中央図書館講堂	40名	
レファレンス研修会（インターネット情報検索研修） 第1回	平成20年10月3日(金)	中央図書館講堂	20名	
第2回	平成20年10月24日(金)	中央図書館講堂	20名	
レファレンス研修会（レファレンスサービス専門研修）	平成20年12月4日(木)	中央図書館講堂	40名	
千葉県読書グループ育成研修大会	平成21年3月予定	未定	50名	共催
図書館音訳者養成講座	平成20年9月10日(水)・24日(水)	中央図書館講堂	30名	

【西部図書館】

事業名	年月日	会場	参加予定数	備考
図書館ネットワーク研修会	平成20年10月2日(木)	西部図書館研修室	40名	
資料補修研修会	平成20年12月11日(木)	西部図書館研修室	30名	
障害者サービス研修会	平成20年6月11日(水)	西部図書館研修室	40名	
図書館音訳者養成講座（中級）	平成20年9月～10月予定	西部図書館研修室	各回30名	

【東部図書館】

事業名	年月日	会場	参加予定数	備考
図書館運営研修会	平成20年6月18日(水)	東部図書館研修室	50名	
資料検索研修会	平成20年8月1日(金)	東部図書館会議室	15名	
図書館音訳者養成講座（初級）	平成20年11月～ (5回程度)	東部図書館研修室	30名	

5 電算業務

【業務系システム】

県立図書館の電算システムは、西部図書館の開館（昭和62年）に向けて昭和59年度から開発した独自システムが最初である。その後、平成8年度、西部図書館システムの改良版を中央図書館で導入し、平成10年度には同システムを東部図書館開館時から稼働させた。

こうした3館のシステムを統合するため、平成17年度にワーキンググループを設置して検討を開始し、ホストコンピュータを中央図書館に設置して、平成19年2月1日から千葉県立図書館統合電算システムを稼働した。

【インターネット系システム】

「千葉県立図書館ホームページ」（<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>）については、平成13年度に、中央図書館システムの更新に合わせて4月1日から公開した。同時に、県と市町村の図書館の蔵書が同時に検索できる「横断検索システム」（当初の参加館は県立、市川市、佐倉市、浦安市、佐原市（現香取市）、千倉町（現南房総市））を採用し、毎年度参加館を追加している。

平成19年度には野田市、茂原市、習志野市、流山市を加え、市町村の参加は平成20年3月末で29市1町60館となった。ホームページのアクセス件数は平成20年3月末現在、1,980,020件に達した。

また、統合電算システムの稼働と同時に、平成19年2月にはホームページもリニューアルし、県立図書館作成データベース等の検索機能を強化するとともに、「インターネットからの資料の予約」「メールレファレンス」「所蔵貴重書画像の公開」等の機能を追加した。

（表1）電算システムの現況

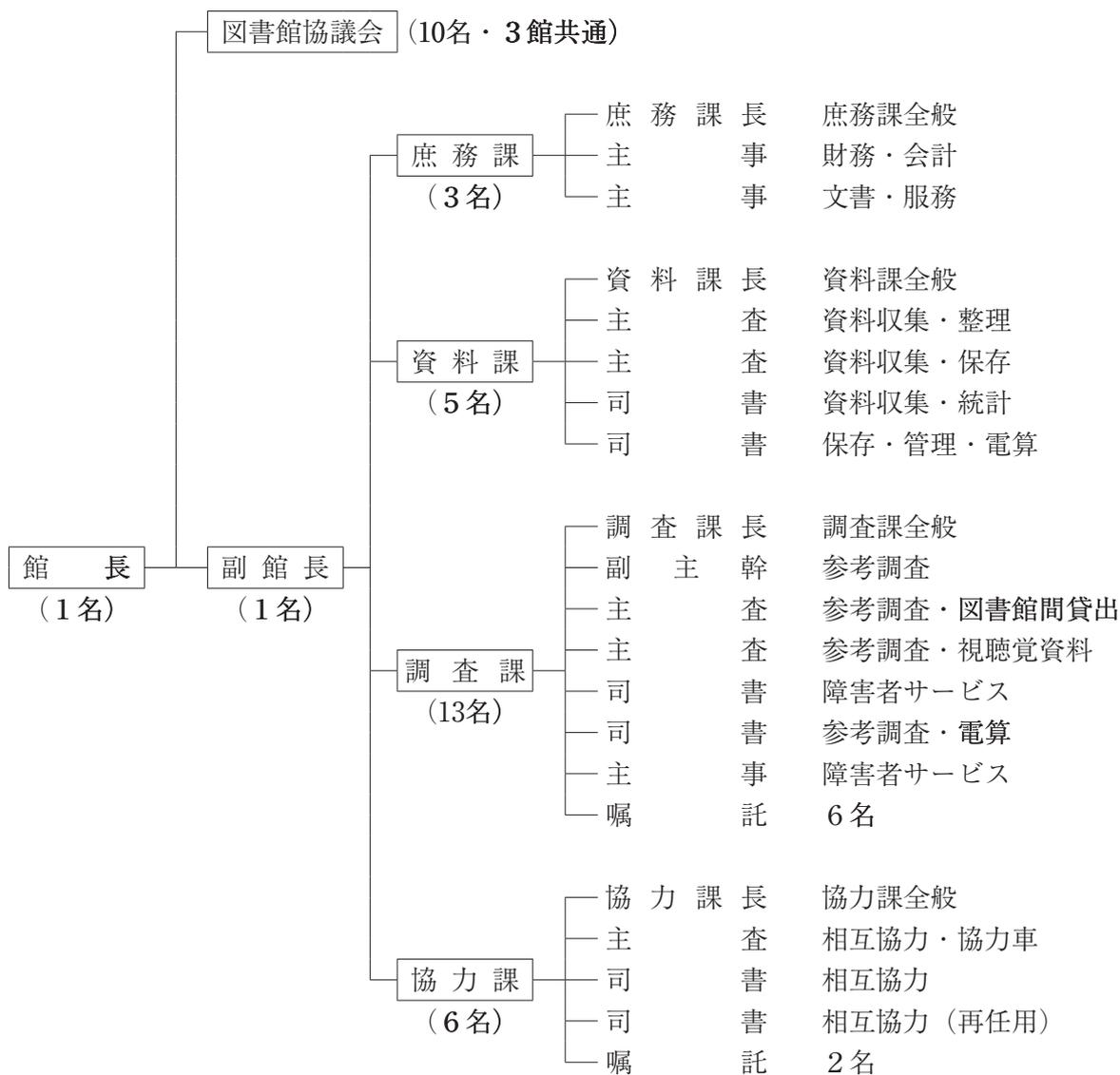
館名	電算システム		
中央図書館	1	業務サーバ	富士通PRIMEPOWER450
	2	AP/DBサーバ	富士通PRIMEPOWER450
	3	Proxyサーバ	富士通PRIMERGY RX300 S2
	4	レファレンスDB用サーバ	富士通PRIMERGY RX300 S2
	5	外部WWW・蔵書検索・横断検索サーバ	富士通PRIMEPOWER450
	6	DNS Mailサーバ	富士通PRIMERGY RX300 S2
	7	レファレンス・貴重書・逐刊総合目録サーバ	富士通PRIMERGY RX300 S2
	8	中国語、韓国・朝鮮語検索サーバ	富士通PRIMERGY RX300 S2
	9	Web-OPACサーバ	富士通PRIMERGY RX300 S2
	10	NSCDNetサーバ	日鉄エレクトクス Intranet DL Mini
	11	端末機	業務用44台、利用者用22台、携帯型30台

館名	電 算 シ ス テ ム	
西部図書館	1 業務サーバ	富士通PRIMERGY RX300 S2
	2 Web-OPACサーバ	富士通PRIMERGY RX300 S2
	3 NSCDNetサーバ	日鉄エレクトクス Intranet DL Mini
	4 端末機 業務用31台、利用者用24台、携帯型28台	
東部図書館	1 業務サーバ	富士通PRIMERGY RX300 S2
	2 Web-OPACサーバ	富士通PRIMERGY RX300 S2
	3 NSCDNetサーバ	日鉄エレクトクス Intranet DL Mini
	4 端末機 業務用31台、利用者用21台、携帯型22台	

(表2) 横断検索参加自治体一覧

参加年度	参 加 自 治 体
平成13年度	千葉市、市川市、佐倉市、浦安市、四街道市、南房総市、香取市
平成14年度	船橋市、成田市、八千代市、山武市、横芝光町
平成15年度	旭市、市原市、我孫子市、袖ヶ浦市、八街市
平成16年度	松戸市、富里市、匝瑳市
平成17年度	東金市、君津市、白井市
平成18年度	銚子市、木更津市、印西市
平成19年度	野田市、茂原市、習志野市、流山市

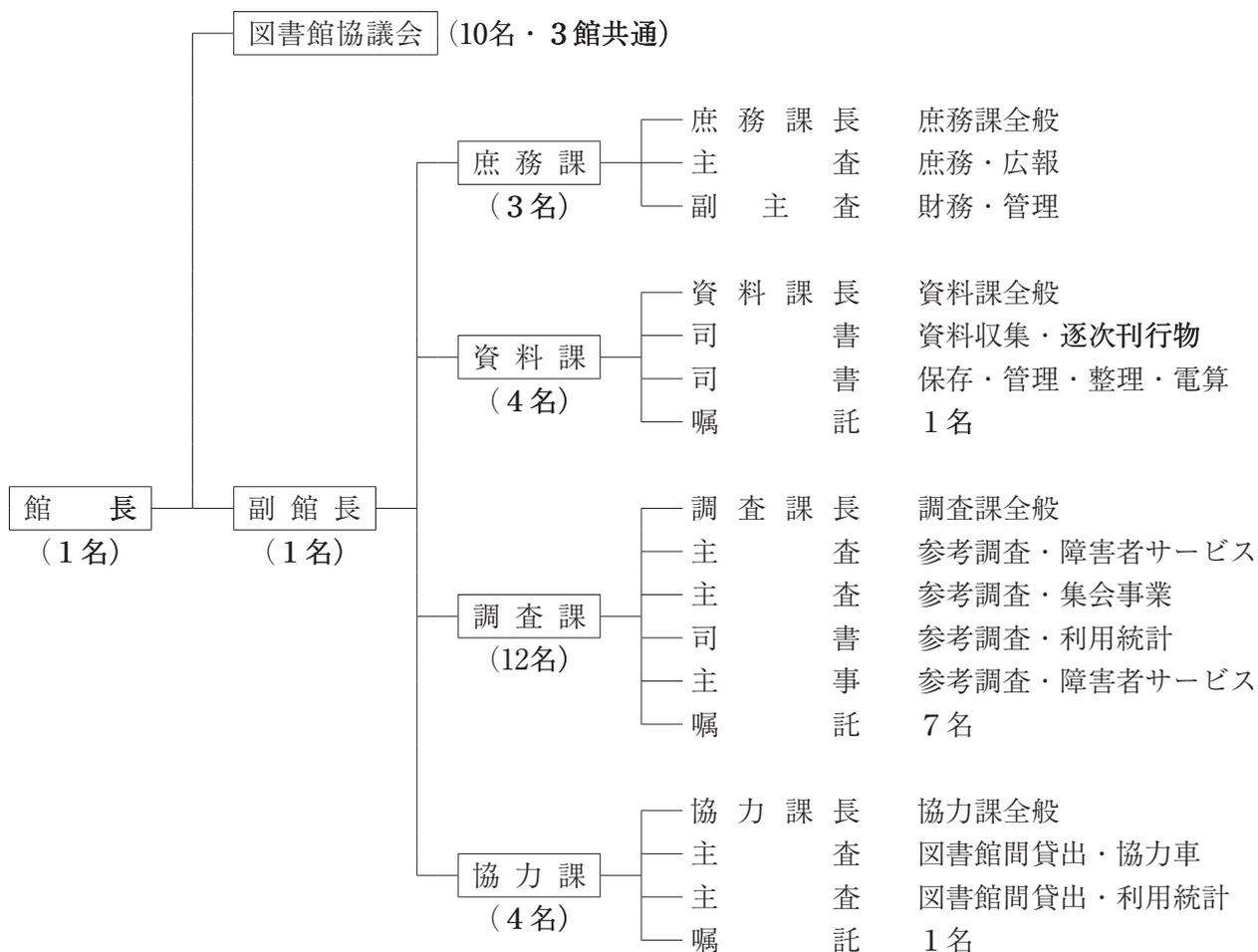
1 組織



2 職員数及び司書の有資格者数

区分	館長	副館長	副主幹	課長	主査	司書	主事	小計	嘱託	合計
男	1	1		3	1	1		7		7
女			1	1	4	5	3	14	8	22
計	1	1	1	4	5	6	3	21	8	29
うち司書の有資格者		1	1	2	1	6	1	12	8	20

1 組織



2 職員数及び司書の有資格者数

区分	館長	副館長	課長	主査	司書	副主査	主事	小計	嘱託	合計
男		1	3		2		1	7		7
女	1		1	5	1	1		9	9	18
計	1	1	4	5	3	1	1	16	9	25
うち司書の有資格者		1	2		3			6	7	13